

# 無痛分娩マニュアル

## 当院での基本事項

1. 無痛分娩希望者は、事前に外来での麻酔説明を受け、質疑応答ののちに承諾書を取得する。
2. 当院での無痛分娩は、全身管理をする医師がいる平日日中での提供を基本とする。
3. 麻酔中の患者は、必ず助産師によるモニタリングを継続する。

## 麻酔方法

- ① 細胞外液の投与を開始する（子宮収縮薬とは別ルート）
- ② 胎児モニターに加え、母体にモニター（SpO<sub>2</sub>、血圧計、心電図）をつける。
- ③ 硬膜外カテーテル挿入  
穿孔部位：L3/4、L2/3  
テストドーズ：1%キシロカイン 2 – 3 ml
- ④ 導入薬：0.1%アナペイン 1.4 ml + フェンタニル 5.0 mcg → total 1.5 ml
  - ・ 5 ml ずつ 3 – 5 分間隔で投与（くも膜下や血管内投与の有無を確認しながら）
  - ・ 導入開始～30分の間は母体の血圧を2分ごとに測定
  - ・ 血圧低下に対しては輸血負荷・昇圧剤（ネオシネジン・エフェドリン）で速やかに対応
  - ・ 子宮収縮薬は導入～30分の間は増量をスキップ
  - ・ 児心音低下→収縮剤中止、輸液負荷、体位変更、緊急子宮弛緩薬（ニトロ）で対応
- ⑤ 麻酔導入：20分後に評価を行う
  - ・ NRS（麻酔前後での比較）
  - ・ コールドテスト
  - ・ Bromage scale（運動神経ブロックの評価）
- ⑥ 麻酔維持：0.08-0.1%アナペイン（+フェンタニル 2 mcg/ml）6 – 1.0 ml  
麻酔担当者の判断で、定期的に投与